



No.384 令和3年5月31日

おおたこうれん

発行所
東京都大田区南蒲田1-20-20
電話(3737)0797・FAX(3737)0799
一般社団法人大田工業連合会
発行人 会長 舟久保利明
E-mail: office@ootakoren.com
ホームページ: https://ootakoren.com/
印刷所
東京都大田区中央8-5-1
電話(3752)3391
城南印刷工業株式会社



例年より規模を縮小し、各会代表のみ参加して行われた定時総会

今年度も引き続きコロナ禍の影響で中止・延期の可能性があるが、細心の感染症対策とオンラインツールの活用を前提に、会員企業の経営力向上、各種団体や機関との交流・連携の推進、地域産業の活性化、会員相互の親睦を柱とし

今年度も引き続きコロナ禍の影響で中止・延期の可能性はあるが、細心の感染症対策とオンラインツールの活用を前提に、会員企業の経営力向上、各種団体や機関との交流・連携の推進、地域産業の活性化、会員相互の親睦を柱とし

今年度も引き続きコロナ禍の影響で中止・延期の可能性はあるが、細心の感染症対策とオンラインツールの活用を前提に、会員企業の経営力向上、各種団体や機関との交流・連携の推進、地域産業の活性化、会員相互の親睦を柱とし

今年度も引き続きコロナ禍の影響で中止・延期の可能性はあるが、細心の感染症対策とオンラインツールの活用を前提に、会員企業の経営力向上、各種団体や機関との交流・連携の推進、地域産業の活性化、会員相互の親睦を柱とし

大田工業連合会青年部連絡協議会(以下、青年部)の第55回定時総会が、4月21日に大田区産業プラザP10で行われた。従来は来賓や関係者を招いて開催している定時総会も昨年はコロナ禍の影響で書面決議による開催に。今年も感染症対策を講じつつ、各会代表のみを集め、規模縮小での開催となった。

まずは初めに挨拶に立った松島秀仁委員長は「昨年は委員長の任を引き継いだものの、予定していたものが中止になったり、企画を立てることすら難しい状況に陥るなどコロナに振り回された一年になった」と無念さを滲ませながら昨年度を総括。その上で「こうした状況下でもウェブ会議ツールなどを活用して

月に一度の定例委員会を継続するなど新たな方法での会員間の連携を模索してきた」と述べつつ、「今年は去年と同じにならないように、オンラインを中心とした企画を行っていききたい」と今年度の目標を語った。

その後は松島委員長を議長に選出し、昨年度の事業報告承認と収支決算報告承認、今年度の事業計画と収支予算の決定という計4つの議案について説明と採決が行われた。

昨年度はコロナ禍の影響により、前委員から新委員への委員引継研修会をはじめ、青年部主催のマッチングセッションOTA(代替策として、パンフレットを作成して関係機関に配布)、ザ・パーティー、出展・参加しているOTAふれあいフェスタ2020、ものづくり教育・学習フォーラム、おおた工業フェアなど各種イベントが軒並み中止と多大な影響が出た。

その一方で、9月には開業直後のHICityで工場見学会を実施し、会員企業から18名が参加。10月には城南職業能力開発センター大田校との交流会を開催し、青年部委員6名が講師を担当した。そのほか、構成4団体の各青年部における各事業に会員が相互参加し、交流を拡げるなど、できる範囲の中でいくつかの活動を行った。

大田工業連合会青年部連絡協議会 令和3年度の主な事業予定

実施月	事業名	担当会	備考
8月	納涼会	蒲田工業経営研究会	
9月	工場見学会	蒲田工業協同組合 木鶏会	
10月	委員引継ぎ研修会	工和成年会	1泊2日を予定
	講演会	大森工場協会 YMクラブ	
11月	OTA ふれあいフェスタ	大田工連青年部	各会青年部が参加予定
12月	マッチングセッション OTA2019	青年部有志	
	忘年会	蒲田工業経営研究会	
1月	工業展示会出展	青年部有志	おおた工業フェアへの 出展を予定
2月	THE PARTY2022	大田工連青年部	実行委員会にて運営

※実施月についてはあくまで予定であり、変更となる可能性があります。



議案を読み上げる蒲田工業経営研究会の小田錦一郎氏(左)と大森工業協会YMクラブの舟久保利和氏(右)

第55回 大田工連青年部 定時総会開催

【工連事務局からのお知らせ】

サイバーセキュリティ強化を推進します！

東京オリンピック・パラリンピックを控えた日本へのサイバー攻撃の増加やコロナ禍による急激なIT化の推進により、中小企業にもサイバー攻撃の脅威が迫っています。大田工業連合会では3年前から東京都や東京都中小企業団体中央会と連携し、会員企業に対するサイバーセキュリティ検証実験を実施し、実態把握とセキュリティ強化対策を会員企業の皆様と実施しております。

「団体向けサイバーセキュリティ向上支援事業による検証実験とその結果について」

中小企業はサプライチェーンの一翼を担っており、政府機関もセキュリティ対策強化を国の重点対策の一つとして「SECURITY ACTION」をはじめとする各種支援事業の取り組みを行っているものの、大企業と比べるとかけられるコストや人的リソースに限界があり、十分なセキュリティ対策を個別に行うことに無理があることもわかりました。攻撃者はセキュリティ対策が手薄

である中小企業を踏み台にして大企業の機密情報にアクセスすることが知られています。特に当会は世界レベルの技術を持つ企業が多数在籍しており、大企業との取引も多いため、攻撃者のターゲットになる可能性は高いと考えられます。

2018年度から2020年度の3年間にわたり当会会員企業60社にご協力いただき、サイバーセキュリティの現状把握とサイバー攻撃への対応能力向上を図るための検証実験を行った結果、当会会員企業でも「9割近くの企業でサイバー攻撃を受けている実態」と「インターネットに接続するネットワークの出入り口と、作業するパソコン本体の両方の監視を組み合わせて運用することが効果的なセキュリティ対策である」ことが明確になりました。

一方で「中小企業は多忙な業務の中でセキュリティ対策にかける時間が十分にとれない」とことや「単独で対策するには多額のコストがかかるなどの理由から単独で有効なセキュリティ対策を行うことが難しい」という課題も明確になってきました。1社がコンピュータウイルスに感染すると、その1社を足掛かりに、取引関係のある企業にもサイバー攻撃が波及する恐れもあるため、大田工連全体で継続的かつ組織的にセキュリティ対策を進めていく必要があることも理解することができました。

「検証実験後のセキュリティ対策とサイバー攻撃の現状について」

ウイルス対策ソフトを導入していてもサイバー攻撃そのものが巧妙化しているため、従来の対策ソフトでは防ぎきれないウイルスや十分なメンテナンスや運用が行えていないためにすり抜けるウイルスがあり

ます。それらに対応するため、上記検証実験終了後、エンドポイント（パソコン本体）のセキュリティ監視とネットワーク監視を組み合わせた「エンドポイントセキュリティサービス」をご案内し、30社が継続して当該サービスをご利用いただいています。本サービスは検証実験の結果をもとに、経済産業省、IPA（情報処理推進機構）が推奨する中小企業に必要な情報セキュリティ対策の一步となるものです。パソコンなどのエンドポイントそのものと、各企業とインターネットを接続するネットワーク境界の両方のポイントでウイルスをはじめとするサイバー攻撃を検知。発見した場合に遮断し、遮断できなかったものについては利用者に脅威をお知らせするサービスになっています。

サービス開始から3か月間に当会会員企業に対して1144件のサイバー攻撃が行われ、本サービスで脅威を防止できたことが実証されています。

「支援事業後の具体的な取り組みについて」

セキュリティ事故は発生した企業様のみならず、企業が参加する団体の信用に波及する時代になっています。そのため大田工連全体で継続的かつ組織的にセキュリティ対策を進めていく必要があります。当会としては、この支援事業で得られた知見を元に、今年度以降も継続してサイバーセキュリティ向上に向けた活動を進めていくことを3月の理事会にてご報告いたしました。

おおたこうれん新聞でも複数回に渡り、今回のサイバーセキュリティの連載記事を掲載し、取り組み状況の共有や皆様のセキュリティ意識の向上を図りたいと考えています。

当会9つの正会員団体単位でご協力いただき、地域に根差したセキュリティ普及活動を進めて行くことが当会全体のセキュリティレベルの向上に効果的であると考えております。既に、工和会協同組合、蒲田工業協同組合並びに木鶏会は進め方の検討段階に入っており、団体ごとに勉強会等も計画いただいております。

「会員企業の皆様への今後のお願い」

本セキュリティ向上施策を進めるにあたり、現状のIT環境やセキュリティ対策状況などのアンケートのお願い、および総会などの会合の場でセキュリティの情報提供を行わせていただきます。

またこうれん新聞にて継続的に各企業様のインタビューなどセキュリティ関連記事を掲載させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

大田工連会員企業におけるサイバー攻撃検知状況 調査期間：2021/1/18～4/23

アラート種別	ネットワークの監視(UTM)		PC端末の監視
	ウイルス遮断	不正アクセス遮断	ウイルス検知
検知数	53	1086	5

新入社員セミナー参加企業 募集のお知らせ

5月に予定しておりました新入社員セミナーは、感染症が拡大している状況のため、7月に開催を延期することといたしました。

内 容：新入社員の方々に社会人として活動を行っていく上での必要な心構え、ビジネスマナーなどを習得して頂き、社会人として、そしてプロとして、会社および社会の発展に貢献する人材になって頂くことを目的として実施しております。当セミナー受講者様向けに、半年後フォローアップ研修を行います。昨年の新入社員セミナーをご受講された方も対象です。（受講料はお問合せください）

定 員：30名（抽選制）

対象者：原則として今春学校等を卒業し、区内の工業系企業に就職した方（中途採用も可）

期 間：【新入社員セミナー】令和3年7月26日（月）、27日（火）、28日（水）の3日間（9：30～16：30）

【フォローアップセミナー】令和4年1月21日（金）（13：00～17：00）

会 場：大田区産業プラザPiO 6階 C会議室

受講料：選択式となります。

《新入社員セミナーのみ》1名あたり：会員価格：13,000円（昼食代、教材費等込み） 非会員：15,000円（昼食代、教材費等込み）

《新入社員セミナープラス、フォローアップ研修》1名あたり：会員価格：16,000円（昼食代、教材費等込み） 非会員：19,000円（昼食代、教材費等込み）※フォローアップ研修には昼食は付きません。

申込締切：令和3年6月25日（金）

申込・問合せ先：一般社団法人 大田工業連合会事務局 TEL：03-3737-0797 FAX：03-3737-0799



各種インテリアが入る前の 1 階受付とオープンスペース



同じく設備が入る前の1階の試作室



3 階のオフィススペース。2 階と 3 階合わせて会議室も全6室ある

六郷BASE(大田区南六郷創業支援施設)

大田区南六郷三丁目10 番16 号

開 館 日 原則として年中無休

開館時間 受付 10:00～18:00

(2階・3階は原則として24時間開館)

六郷BASEを利用するには?

六郷BASEは4種類の利用方法が可能。月額使用料は、個室のオフィスが42000円～、固定席のシェアオフィスが10000円～、コワーキングスペースが8000円～。1回利用のオープンスペースは、1時間500円、1日1000円。オープンスペース以外は利用に際して審査があります。「新分野に進出しようとする事業経営者又は事業経営者グループ」も使用資格にあたるのでセカンドオフィスなどの利用も可。入居募集は7月以降を予定。より詳しい情報は大田区のホームページでご確認ください。

おおたの ものづくり探訪

第3回 六郷BASE



開設前の施設を
見学してきました！

若い起業家と

区内企業をマッチング

区内のものづくり注目企業や新施設を紹介する本企画。第3回となる今回は大田区が新たに開設する「六郷BASE（ベース）」を紹介します。

今年10月にオープンする六郷BASEは、区内開業率の向上、区内企業の取引拡大、創業の機運醸成という3つを柱にした新しいインキュベーション施設です。

京急線「六郷土手駅」「雑色駅」の両駅から徒歩10分の所に立つ施設は、3年前まで六郷図書館の仮施設として使われていた建物をリノベーション。3階建ての施設は、1階に起業希望者、区内企業、支援機関等の利用を想定したオープンスペースやセミナールーム、2階に初期の起業家やフリーランスを対象としたコワーキングスペース

と固定席のシェアオフィス、3階に創業5年以内のスタートアップ企業が入居する個室型オフィス（全12室）という構成です。

指定管理者として運営の主を担う株式会社ツクリエは、丸の内「Startup Hub Tokyo」をはじめ、インキュベーション施設の運営で多分野の実績のある企業。同社の太田尚緒美さんは「起業を目指している方の中には、アイデアや技術は持っているけど、それをどう形にすべきか試行錯誤されている方が多い。その点で近隣のものづくり企業が集まっていることは、当施設にとっても大きな魅力になる」と語ります。

また、3Dプリンター、レーザーカッターなどを完備した試作室があるのも大田区の産業支援施設ならではの特徴。「機械をただ置くだけではなく、指導員の方を派遣するなどして詳しい使い方やどの機械を使うのが最も効率的か

など、細やかな相談に乗れる体制を作っていきたいです」と太田さんは言い、こうしたところにも起業家と大田区のものづくりとの繋がりが生まれそうです。

施設には起業のサポート役となるコミュニティマネージャーが常駐し、入居者と区内企業等とのマッチングを提案。1階のオープンスペースでは区内産業との交流イベントも行っていくそうで「これから事業拡大していくフェーズの方が集まるので、メンターや相談相手としても地元企業の方々と繋がりが欠かせません。施設の入居者の方々について知っていたら、こちらからも積極的に情報を発信していきます」と太田さん。

なお、テレワークの普及を受けて、六郷BASEでもオンラインとオフラインの両面で起業支援を行っていくとのこと。入居募集は7月以降を予定しています。

大田区は男女共同参画社会の実現をめざしています

区では男女共同参画社会をめざし、令和3年3月「第8期大田区男女共同参画推進プラン」を策定しました。

基本理念 ～誰もが認めあい、笑顔つながるまち おおた～

大田工業連合会からも委員をご選出いただいている「大田区男女共同参画推進区民会議」での、貴重なご意見や提言、区民への男女共同参画に関する意識調査を基に策定しました。男女共同参画社会の実現には、一人一人の人権を尊重することが大切です。

また、性別による固定的役割にとらわれず、ともに考え支えあい、だれもお互いを認め合うことが必要です。

男女共同参画社会は、区民、地域(企業、地域団体、教育機関等)、行政の連携で進める社会です。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

本プランは、大田区ホームページから計画の全文をご覧ください。

大田区総務部人権・男女平等推進課 電 話 5 7 4 4 - 1 6 1 0 F A X 5 7 4 4 - 1 5 5 6

事務局から 第9回



新年度が始まり2カ月が経ちました。本来であれば新年度最初の事業である新入社員セミナーの様子を今月号にて掲載する予定でしたが、緊急事態宣言の発出により7月に延期を余儀なくされました。会員企業の皆様からは、本セミナーは対面による実施が効果的であるのご要望を頂いています。事務局としても同時期に大田区の企業に入社した“同期”が顔を合わせて繋がって欲しいという思いがあり、リアル開催を計画しています。

また、子ども達を対象とした夏休みのイベントの募集が始まり、例年よりも早いペースでお申し込みを頂いています。年々、人気が高まっていることを実感しながら、無事に開催出来ますよう祈りながら準備を進めています。

今月号ではサイバーセキュリティについてのお知らせを掲載しました。目に見えない攻撃から守るのは、新型コロナウイルスにも似ていて、防衛に勝るものではありません。皆さまにおかれましても、会社の感染症対策と併せてIT環境についてお考えいただくきっかけとしていただければ幸いです。これらを含めてご相談がありましたら事務局までお申し付けください、よろしくお願いします。

《Interview》 工連青年部・松島委員長に聞く 任期2年目の抱負は？

コロナ禍という難しい局面の中で大田工業連合会青年部連絡協議会（以下、青年部）の委員長を任されることになった松島秀仁氏。引き続き難しい舵取りが予想される中、昨年度の総括と今年度の目標について話を聞いた。

—コロナ禍直撃の昨年4月に委員長の任を引き継いだ。この一年の手応えは？

当初予定していた恒例事業がほとんどできなかった。最初の定時総会も従来通り開催できず、委員間の引き継ぎもうまくできない中で試行錯誤しながら進んだ一年だった。集まることすら難しい状況でどう親睦を図ればいいのか悩むこともあったし、活動を行うこと自体が正しいのかという葛藤もあった。その中でオンラインの活用を活路を求め、まずはツールに馴染むことから始めた。各社に設備が整い、ようやく会議らしい会議ができるようになったのは夏以降だった。

—オンライン活用を模索する中で得られたものはあるか

やはり実際に会った方が親睦を深められるという思いは変わらない。懇親会でしか話せないようなことやカジュアルな場だからこそ出てくるアイデアもあるが、昨年度はそういう場も設けられなかった。しかしながら、リアルでやっていたものがオンラインに移行していく中で、今まで青年部内で光があたるのが少なかったITやウェブの分野に強い会員の力が際立った。

—それは今まで見過ごされていた青年部のポテンシャルが見えたということ？

モノづくり産業というのは「機械でモノを作って精度で勝負」という色が濃く、会員の中にはウェブ等の知識が乏しい企業も少なくない。しかし世

相的に急速なオンライン化に迫られ、オンラインに切り替える展示会もある中で、会員同士が出席方法などのナレッジを共有できたのは大きかった。秋以降はオンライン講習会ができるようになり、今では会員企業の多くがウェブツールを使って商談可能になっている。

—任期2年の2年目に入ったが、今年度はどのような目標を掲げながら活動していくか

130社くらいが加盟している団体なので、やはりこうした状況であっても「集団だからこそそのパワー」をうまく使いたい。でもコロナが完全に終息するまでは、みんなで集まって何かをやるのは難しいというのが現実だ。一方で、今までは単発のイベントしかなかったので、一年を通してできるような事業をやってみたいという考えもある。そこで、今年度は、青年部が掲げたひとつのテーマに対して各社それぞれが行っている取り組みを紐づけるような通年企画を考えている。具体的には会員企業が行うSDGsやCSRに関する活動を青年部で集約し、報告会のような場を設けてそれらを応援していくような形を想定している。定例委員会等で各委員の意見を交えながら早いうちに実現させたい。

大田工業連合会青年部 第55回定時総会



定時総会では議長として議事を進行した松島委員長

安心な国の融資制度「マル経融資」をご存知ですか？

マル経融資は、商工会議所の推薦にもとづく、日本政策金融公庫の無担保・無保証人（信用保証協会の保証も不要）の融資制度です。

【限度額】 **2,000万円** 【利率】 **1.21%**
(2021年5月1日現在)

【融資対象】従業員20人以下
(宿泊業、娯楽業を除く商業・サービス業5人以下)の法人・個人

【使 途】事業資金(運転・設備資金)
【返済期間】運転7年以内・設備10年以内

◆審査の結果、ご希望に添えない場合があります。予めご了承ください。

※大田区より当初3年間、支払い利息の40%が補助されます。
※一定の要件を満たす設備資金については上記金利より当初2年間0.5パーセント引下げとなります。

経営上でお悩みの時
窓口専門相談をご利用ください

・法律相談・税務相談・労務相談《予約制・無料》
※本相談は、経営に関する相談に限定しております。

 **東京商工会議所 大田支部**
☎ 3734-1621 大田区南蒲田 1-20-20 (大田区産業プラザ5階)

※会員非会員を問わずご利用いただけます。
※この融資限度額及び返済期間の取扱いは2022年3月31日
日本政策金融公庫受付分までとなります。